

令和8年度「地域発 元気づくり支援金」（木曽地域） 2次募集分で4事業が内定しました

「地域発元気づくり支援金」交付要綱に基づき開催した木曽地域選定会議の意見を踏まえ、下記のとおり内定しました。

1 事業区分別の選定状況

（単位：千円）

事業区分		選定状況		
		件数	支援額	事業例
1	地域協働の推進	0	－	
2	保健、医療、福祉の充実	0	－	
3	教育、文化の振興	0	－	
4	安全・安心な地域づくり	0	－	
5	環境保全・景観形成	0	－	
6	産業振興、雇用拡大（小計）	2	4,918	
(1)	特色ある観光地づくり	2	4,918	上松町森のリトリート受入体制づくり事業 木曽地域における広域観光推進に向けた機運醸成・情報発信事業
(2)	農業の振興と農山村づくり	0	－	
(3)	森林づくりと林業の振興	0	－	
(4)	商業の振興	0	－	
(5)	その他	0	－	－
7	市町村合併に伴う地域の連携の推進	0	－	－
8	その他地域の元気を生み出す地域づくり	2	6,263	木曽の伝統的発酵・郷土食文化未来継承事業 まちの空き家を利活用した地域の中と外をつなぐシェアキッチン事業
合計		16	11,181	

2 事業区分別の選定状況

（単位：千円）

申請者区分	件数	支援額	備考
町村	0	－	
広域連合	0	－	
公共的団体	4	11,181	地域づくり団体等
合計	4	11,181	

【参考】

木曽地域の要望状況：4団体から4件（計11,200千円）の応募がありました。
（一部対象経費の査定後、全て採択）

確かな暮らしを守り、
信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン3.0
～大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために～

[長野県総合5か年計画推進中]

（問合せ先）

長野県木曽地域振興局 企画振興・商工課
（担当）田中、上沼

電 話 0264-25-2212（直通）

F A X 0264-23-2583

E-mail kisoichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp

令和8年度「地域発 元気づくり支援金」（木曽地域） 採択事業一覧表

No.	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費（千円）		支援金 内定額 (千円)	新基準 区分	重点 支援 対象 事業 区分
							うち 支援金 要望額			
1	特色ある観光地づくり	ソフト	上松町森のリトリート受入体制づくり事業	木曽上松なからラボラトリー	上松町において通過型観光地から滞在型観光地への転換を図るため、赤沢自然休養林や木曽ひのき等の地域資源を活かした新たなコンテンツ「早朝森林リトリート」プログラムの実装を目指す。地域の協力事業者とともにプログラム実証実験を行い、合わせて実装に向けた関係者間の意識醸成や具体的な実施体制の構築・強化を図る。 ①専門家監修・実証実験経費等433千円、プログラム資材179千円(木曽ひのき体験・食文化体験・香り体験等)、専用ウェブページ構築122千円	777	777	621	新基準B	4・関係人口の創出拡大
2	特色ある観光地づくり	ソフト	木曽地域における広域観光推進に向けた機運醸成・情報発信事業	木曽観光連盟	「日本遺産木曽路」を活かし、インバウンドを含む国内外の観光客や木曽地域のファンとなる観光人口を一層増やし地域ぐるみで広域観光を推進していくため、セミナー・先進地視察の開催や広域観光PRポスター・木曽路トレイルマップの制作・活用により、住民や観光関係者を含む地域全体の広域観光への機運を醸成し、広域観光地としての情報発信を行う。 ①広域観光地域づくりセミナー講師3名(謝金300千円、旅費・宿泊費68千円)、広域観光PRポスター制作550千円、木曽路ロングトレイルマップ作成990千円、インバウンド向けストーリー構築3,047千円(専門家監修委託55千円、特集記事制作・専門誌掲載2,497千円)	5,396	5,371	4,297	新基準A	4・関係人口の創出拡大
3	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	木曽の伝統的発酵・郷土食文化未来継承事業～「知る・作る・続ける」仕組みづくりと関係人口創出～	ことこと百貨	担い手の高齢化が進む地域の郷土食や発酵文化について、地域の次世代や都市部の若者が「自ら作り、次の世代へ残していく」新しい仕組みの構築を目指し、郡内町村の郷土食や発酵の町巡りを紹介する動画や郷土食レシピ冊子を制作し情報発信するとともに、都内で体験イベントを開催する。 ①動画制作委託3,564千円(郷土食紹介3,036千円、発酵の町巡り528千円)、郷土食レシピ冊子制作委託710千円、首都圏イベント開催委託451千円	4,823	4,725	3,780	新基準B	4・関係人口の創出拡大
4	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト・ハード	まちの空き家を利活用した地域の中と外をつなぐシェアキッチン事業	AGEMATSU CONNECT	地域協働による町内空き家の利活用プロセスの実践例として、県外建築学科の学生と地域住民・町内大工による改修ワークショップや空き家改修の有識者を呼んだトークイベント等を行い、地域住民や移住希望者、学生、地域外から訪れる人らが自然に交流できる日常的な拠点としてシェアキッチンを整備する。 ①ワークショップ講師委託1,000千円、ワークショップ学生旅費92千円、トークイベント等179千円(更新謝金、宿泊・交通費)、イベント広報158千円(チラシ)、改修資材・備品1,445千円、シェアキッチン広報費223千円(写真撮影、ロゴ制作、チラシ等)	3,195	3,105	2,483	新基準B	4・関係人口の創出拡大
木曽地域振興局 計					4 事業	14,191	13,978	11,181		

【再掲】重点支援対象事業

区分	件数	支援額
1.ユースセンターの設置や活動支援	0	0
2.女性リーダーの増加・定着	0	0
3.外国人県民の暮らしやすさ	0	0
4.関係人口の創出拡大	4	11,181
5.先端技術の活用	0	0
6.小さな拠点の形成	0	0
7.地域公共交通の維持・確保	0	0
8.コミュニティビジネス	0	0
9.地域の担い手の確保	0	0
10.ゼロカーボンの取組	0	0
計	0	0
合 計	4	11,181